

(様式1)

自 己 評 価 表

愛媛県立宇和島東高等学校津島分校
学校番号(40)

教育方針	人格の完成を目指し、国家及び社会の有為な形成者として、文化の創造と発展に寄与する人間を育成する。	重点目標	確かな学力と豊かな心を育て、社会に役立つ力を身に付けさせる教育の推進
-------------	--	-------------	------------------------------------

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方針
学習指導	教科指導の充実	習熟度別授業やチームティーチング、支援員との連携により、生徒が主体的・積極的に取り組める授業を実践し、授業満足度が90%以上となることを目指す。 A:90%以上 B:89~80% C:79~70% D:69~60% E:60%未満	B	生徒にとって「授業がよく分かる」の項目が97%で授業満足度は高いといえる。「生徒は授業に熱心に取り組んでいる。」の項目は昨年度の91%から87%に若干下降している。	教員数が減ると習熟度別授業の実施が難しくなる。支援員の配置の工夫や引き続き、別教科の補助に付くなど、今後も基礎学力の定着を目指し、生徒がより興味をもてるように工夫するなどして、熱心に取り組む生徒が90%以上となることを目指す。
	読書指導の充実	授業やホームルーム活動、 <u>図書委員の啓発活動</u> などで図書館利用回数や、図書に触れる機会を増やす。また、蔵書に関する情報提供を積極的に行い、利用しやすい図書の選定と購入に努める。図書貸出冊数一人当たり年間3冊以上を目指す。 A:3冊以上 B:2.9~2.5冊 C:2.4~2冊 D:1.9~1冊 E:1冊未満	C	図書貸出冊数は一人当たり平均1.9冊であった。学年によっては1人3冊以上借りている。昨年度末の1.3冊からは増加したが、大きな増え方ではなかった。	引き続き、図書館利用を促していきたい。また、授業での利用だけでなく、授業中の図書紹介など、生徒が読書に興味を持つような工夫をしていきたい。
	自主学習の充実	ICT機器等を利用するなど <u>学習への興味関心を高め</u> 適切な日々の課題を与えることで一日120分以上の学習時間を確保させる。 <u>継続した自主学習習慣を身に付けさせる。</u> A:120分以上 B:119~100分 C:99~80分 D:79~60分 E:60分未満	C	家庭学習時間調査では検査中及び発表中は110分であったが、自主学習の習慣については生徒が47%、保護者は39%しか定着していないということであった。	定期考査だけでなく、日々の課題と確認テストなどの頻度を増やし、家庭学習が成績につながっていくような工夫をしている。さらにICT機器などを積極的に活用して継続した学習習慣を身に付けさせる。
	アクティブ・ラーニングの充実	ICT機器を活用し主体性を重視した学習活動を更に増やすとともに、本校・分校遠隔授業や <u>校内においても全教員が教科横断型授業を実施し</u> 、学習意欲が高まるよう授業改善を図る。 A:全員実施・活用 B:90% C:80% D:60% E:50%未満	B	全教職員が教科横断型授業に取り組み、ICT機器を活用した学習活動が増えた。本校と部活動連携は継続できているが、遠隔授業においては記念講演を視聴することとなった	教職員のICT機器活用のスキルがさらに高まる校内研修に引き続き取り組む。特にEILSやCBTシステムの取り組みが不十分であるので意識を高めていく。
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	早寝早起きなど基本的な生活習慣の確立や不登校生徒への支援に努め、遅刻・早退を減らし、全校での出席率97%以上を目指す。 A:97%以上 B:96~93% C:92~89% D:88~85% E:85%未満	B	出席率は、昨年度(95%)から上昇して、96.6%であった。また、生徒の生活習慣の変化によって、遅刻して登校する生徒も増加している。	望ましい学校生活を送る基盤として、基本的な生活習慣の重要性を再認識させる。
	規範意識の育成	<u>自律心を育成することにより、規範意識に基づいた行動様式を定着させ、問題行動0件を目指す。</u>	D	いじめを含む問題行動が6件となった。昨年度は4件であり、件数が増えてしまった。	いじめについては、今後とも積極的な認知によって、早期対応につなげる。また、複雑化・多様化した生徒に対応した規範意識の育成を図る。
	特別活動の活性化	部活動・学校行事・委員会活動・本校との交流行事等において、自主的、実践的な態度を育成し、生徒の充実度95%以上になることを目指す。 A:95%以上 B:94~90% C:89~85% D:84~80% E:80%未満	B	本校との部活動連携も3年目を迎え、主力選手として好成绩をおさめる生徒も現れてきた。学校行事や部活動、委員会活動の生徒の充実度は、91%を達成することができた。	連携バスが今後運航が難しくなる関係ではあるが、生徒が不便のないよう工夫したい。また各行事において、人数が少なる関係で運営の仕方を考え直し、充実度が向上するように努めたい。
	交通安全意識の高揚	命を守る観点から、交通法規・交通マナーを遵守し、交通事故0件を目指す。また、「サイクリング事業」において、多くの生徒にサイクリングの楽しさを体感させ、郷土の魅力を発見する機会とする。	A	交通事故0件を達成することができた。また、放課後のサイクリングを通して、心身の健康増進を図るとともに、地域の魅力を再発見することができた。	自転車の安全走行に加え、自転車の点検整備にも取り組み、自らの命は自ら守るという姿勢を育みたい。

人権教育	人権委員会活動の充実	年間6回の人権デーを始め、 <u>高校生夏季研修会1回、合同県外研修会1回</u> を他校人権委員会や地域機関、中学校との連携を積極的に図りながら、主体的に活動させ、人権委員の学びの深化を目指す。 <u>A:予定以上に実施 B:全て実施 C:5~7回 D:1~4回 E:0回</u>	A	津島中学校と合同の人権フォーラムでの発表、夏季研修会での研修報告、アンネのバラに関する青空教室や南宇和高校への引継ぎなど、これまでの学びを校内外へと発信ができた。	外部からの依頼もあり、充実した活動ができた。特に継続して活動してきた3年生が主体的に取り組んでくれた。人数も半減するため、活動の精選をし、生徒の負担を考えながら実施したい。
	充実した人権教育の実施	人権・同和教育の意識調査1回、 <u>人権・同和教育ホームルーム活動3回</u> 、人権・同和教育講演会1回、 <u>全校集会・文化祭での活動報告2回</u> 、岩松福祉会館での報告1回、の実施を目指す。 <u>A:予定以上に実施 B:全て実施 C:4~7回 D:1~3回 E:0回</u>	B	全て予定通り実施できた。特に、ハンセン病問題やホロコーストに関しては、全校集会・文化祭での活動報告をきっかけに、講演会やホームルーム活動へと繋がる学習ができた。	統合化に向けた行事等の精選で、次年度より回数が増えるものもあるが、質を大事にしながら実施していきたい。
	情報モラル教育の充実	生徒に携帯電話やインターネットの適切な利用法を理解させ、引き続きSNS利用等によるトラブル0件を目指す。 A:0件 B:1~2件 C:3~4件 D:5~8件 E:9件以上	A	年2回実施のアンケートや、面談等で確認したSNSによるトラブルは0件であった。啓発活動は過年度に比べ、あまり実施できなかった。	表面化していないトラブルもある可能性は高い。日頃から生徒の様子を観察しながら、家庭との連携も図り、未然防止に引き続き努めていきたい。また、人権デー等でも取り上げ、啓発したい。
進路指導	キャリア教育の推進	前年度の地域課題解決学習を更に深め、 <u>「総合的な探究の時間」の成果をまとめ、校内だけでなく、校外へも発信をする。また、ボランティア、防災、研究の産業化により、地域貢献を目指す。</u>	A	2・3年合同の班編成にして「総合的な探究の時間」の学習を意欲的に行うことができた。校内発表会・コンテストへの参加や研究内容の産業化・様々な地域貢献を積極的に実施できた。	今年度経験を積んだ2年生がさらにステップアップした地域問題解決学習を進める原動力となってくれるはずなので、状況にあった適切なサポートをしていきたい。
	検定資格取得指導の充実	資格取得を通して得られる達成感や自信を学習活動や進路実現に役立てられるよう、 <u>教科指導や個別指導を充実させ、全学年で資格取得への意識高揚を図る。</u>	A	昨年度に増してきめ細かく声掛けをして結果、生徒たちの資格取得への意欲は高まってきている。商業科・国語科・英語科を中心に熱心に取り組むことができた。	昨今の事情で検定料も高騰しており、厳しい状況ではあるが、検定取得の意義を粘り強く訴え、個別の指導も充実させて結果も出していきたい。
	個に応じた進路指導の充実	<u>教科指導及び進路希望に応じた個別指導や生徒・保護者との面談を充実させ</u> 、きめ細かい進路指導を実践し、決定進路満足度100%を目指す。 A:100% B:99~90% C:89~80% D:79~70% E:70%未満	B	現在も進路希望実現を目指し活動中の生徒もいるが、生徒たちの頑張り・保護者の協力・多くの教員が進路指導に関わる体制によって、多くの生徒が進路を決めることができています。	補習授業の内容や個別指導の実施方法を再検討し、生徒たちにとって最も効果のある形を作っていきたい。伸ばしていくべきことはたくさんあるので進路先での生活を見据えて取り組みたい。
学校経営	学校安全体制の強化	危機管理マニュアルの見直し、 <u>高田地区との合同避難訓練の実施</u> 、交通安全指導の強化、校内防災体制の改善や防災意識の高揚を図り、災害発生時の協力体制を強化する。	A	防災訓練は計画的に実施できた。高田地区との合同訓練では日赤の講義や認知症高齢者への対応などを実施し、より意識を高めることができた。防災食の新しいレシピも好評であった。	次年度も、ますます地元高田地区と合同の防災避難訓練を進めていき、災害発生時の協力体制を強化していく。
	地域との結びつきを大切に、地域について学ぶ学習の充実	地域行事の積極的な参加、地域と連携して学習する機会を年間 <u>50回</u> 以上設定し、生徒の社会性や自己肯定感を高めたり、地域との結びつきを強化したりする。 <u>A:50回以上 B:40~49回 C:30~39回 D:20~29回 E:20回未満</u>	A	宇和島市や地域の各種イベント、公共施設、NPO法人等との交流を <u>●●回</u> 以上実施し、地域の活性化に貢献できた。生徒の人間力や郷土愛の育成につながった。	今後も地域との連携や地域貢献を通して地域について学ぶとともに、生徒の郷土愛、人間力、生きる力の育成を図る。分校主催のイベントにも挑戦していきたい。
	広報活動の充実による開かれた学校づくり	学校ホームページ、YouTubeチャンネル、報道機関へのプレスリリース、 <u>マチコミ送信等により積極的な情報発信を図る。また、部活動、有志による地域活動への参画を積極的に行う。</u>	C	津高タイムズや体験入学等が廃止となったが、ホームページのブログアップに努め、学校の魅力紹介に努めた。中高連絡会は継続することができ、生徒の指導に生かすことができた。	2クラスとなるが分校の取り組みや魅力を引き続き発信していく。地域と協働した閉校に向けての行事を計画していきたい。
業務改善	適切な勤務時間	職員との年3回の面談や <u>分掌の見直し、会議等の縮小</u> を通して、できるだけ勤務時間内で業務を遂行してもらい、教職員の勤務時間を守る。また、 <u>細やかなコミュニケーションを実施し</u> 、職員の意識理解に努めるとともに、一月に45時間を超える職員には面談を行う。	B	12月までの勤務時間外在校等時間の月平均は一人当たり24時間という結果で、年々減少している。テレワークを活用する職員も増えてきた。	一月に45時間を超える職員には、引き続き業務内容の見直し、削減、効率化の工夫を呼びかけた。部活の指導時間も原因となっているのでサポート体制を整えたい。
	職場環境の整備	<u>教職員の活動を把握し</u> 、挨拶や声掛け等を行い普段から相談しやすい環境を作っていくとともに、面接や事業・制度に関する情報提供等を行い、 <u>教職員の心理的負担や疲労の軽減を図る。</u>	C	体調不良等による遅刻・早退・欠勤をする者や、言動や表情から普段と異なる心配な点が見られる者は多くはなかったが、我慢して職務をこなしている者もいる現状はある。	引き続き、挨拶から始まる日常的なコミュニケーションを大切に、活動後の労いや感謝の声掛けをしっかりと行いながら、言動や表情等のささいな変化を見逃さないよう関わりを持っていきたい。

※評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。